

あまる・たりない問題 ③（きかれ方）

きかれているものに直して答える

なまえ _____

ひづけ _____

「きかれていること」に線を引こう。xを求めたら、きかれているものに直して答えよう。

- ① 子どもにあめを配ります。1人に5個ずつ配ると7個あまり、1人に8個ずつ配ると8個たりません。
あめは全部で何個ですか。

① きかれているのは (_____) ② x は (_____)

③ ここに 表・式・解く・確かめる を書く

x の値から、きかれているものに直して 答え (_____)

- ② 子どもにケーキを配ります。1人に2個ずつ配ると11個あまり、1人に3個ずつ配ると2個あまりです。
1人に4個ずつ配るには、ケーキがあと何個ひつようですか。

① きかれているのは (_____) ② x は (_____)

③ ここに 表・式・解く・確かめる を書く

x の値から、きかれているものに直して 答え (_____)

- ③ 生徒に色えんぴつを配ります。1人に3本ずつ配ると5本たりず、
1人に4本ずつ配ると13本たりません。色えんぴつは全部で何本ですか。

① きかれているのは (_____) ② x は (_____)

③ ここに 表・式・解く・確かめる を書く

x の値から、きかれているものに直して 答え (_____)



あまる・たりない問題 ③（きかれ方）【こたえ】

なまえ _____

こたえ・考え方・先生へ

ひづけ _____

① 子どもの人数をx人とする。

配り方	くばった数	全部の数
5個ずつ	5x個	5x+7個
8個ずつ	8x個	8x-8個

$$\begin{aligned} \text{式 } 5x+7 &= 8x-8 \\ 5x-8x &= -8-7 \\ -3x &= -15 \\ x &= 5 \end{aligned}$$

きかれているのは あめの全部の数 (x は上の「子どもの人数をx人とする。」)

確かめ $5 \times 5 + 7 = 32$ 、 $8 \times 5 - 8 = 32$

答え 32個

考え方 どちらの配り方でも、あめの全部の数は同じ。「あまる」なら配った数にたし、「たりない」なら配った数からひく。

② 子どもの人数をx人とする。

配り方	くばった数	全部の数
2個ずつ	2x個	2x+11個
3個ずつ	3x個	3x+2個

$$\begin{aligned} \text{式 } 2x+11 &= 3x+2 \\ 2x-3x &= 2-11 \\ -x &= -9 \\ x &= 9 \end{aligned}$$

きかれているのは あとひとつようなケーキの数 (x は上の「子どもの人数をx人とする。」)

確かめ $2 \times 9 + 11 = 29$ 、 $3 \times 9 + 2 = 29$

答え 7個

考え方 どちらの配り方でも、ケーキの全部の数は同じ。「あまる」なら配った数にたし、「たりない」なら配った数からひく。4個ずつ配るのに必要な数は $4 \times 9 = 36$ 個。あるのは29個。

③ 生徒の人数をx人とする。

配り方	くばった数	全部の数
3本ずつ	3x本	3x-5本
4本ずつ	4x本	4x-13本

$$\begin{aligned} \text{式 } 3x-5 &= 4x-13 \\ 3x-4x &= -13+5 \\ -x &= -8 \\ x &= 8 \end{aligned}$$

きかれているのは 色えんぴつの全部の数 (x は上の「生徒の人数をx人とする。」)

確かめ $3 \times 8 - 5 = 19$ 、 $4 \times 8 - 13 = 19$

答え 19本

考え方 どちらの配り方でも、色えんぴつの全部の数は同じ。「あまる」なら配った数にたし、「たりない」なら配った数からひく。

先生へ

- ・つまずきやすい所: xは人数なのに、きかれているのは全部の数(あと何個)で、xの値をそのまま答えにしてしまう。
- ・xの値を答えに書いていたら、「きかれているのは何か」を問題文で指さしさせる。x=…のあと、きかれているものに直す一行を書かせる。
- ・答え面はxを1通りにおいた解き方。別のおき方(たとえば別の数量をxにする)でも、等しい量を式にできていれば正しい。
- ・印刷: A4・白黒でよい(xは文字のxで見分けられる)。答え面は、生徒に配る前に外す。